

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-811-6300
	基本事業	学校教育施設の整備		事業実施主体	市
	事務事業	給食センター整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	安全で安心な学校給食の提供を図るため、施設の老朽化が著しい調理場や校区内の児童生徒数の増加により調理能力がひっ迫している調理場については、複数の調理場を統合し、学校給食センターを建設するなど衛生管理を強化した施設整備を計画的に行う。				
29年度概要	用地購入 実施設計 下水道取付管工事 埋蔵文化財調査等				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	


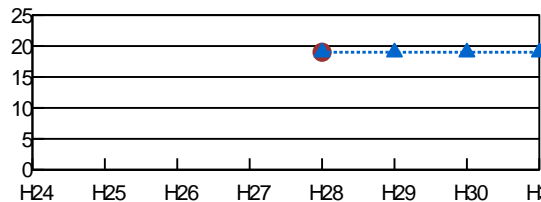

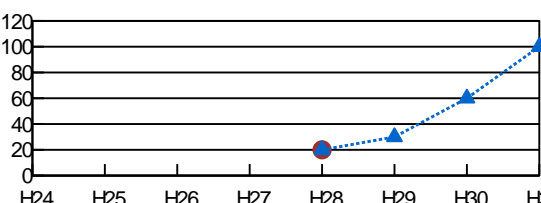
【事業の目的】

対象(何を)	学校給食(共同)調理場
意図(どのような状態にしたいか)	児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理を強化した施設整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
建設等着手件数	件			1	1	1
学校給食センターから配送される学校数	校				27	27

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	ドライ施設として整備した調理場から給食が提供される学校の比率	%	目標値			19	19	19
	実績値				19			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) ドライ施設として整備した調理場から給食が提供されている小中学校は13校、平成32年4月に新設第二学校給食センター(仮称)が稼働開始されると18校となり、比率も現状の19%から26%となる。	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか) 新設第二学校給食センター(仮称)整備進捗率	%	目標値			20	30
	実績値				20			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新設第二学校給食センター(仮称)整備においては、全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%その後の工事工程については事業費で進捗率を管理しているため、28年度については目標を達成できた。	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,975	9,486	21,523	384,093
(事業費)	[円]	1,332	2,577	5,821	360,540
(職員人件費)	[円]	6,643	6,909	15,702	23,553

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

28年度は、基本設計や事業認定等用地購入準備を行った。今後、実施設計、造成設計、下水道工事、造成工事、本体建設工事、厨房機器購入等を行い、平成32年4月稼働を予定しているが、事業経費の削減と予定どおりセンターを稼働することを課題としている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

新入札契約制度の導入等により、経費の節減を図るとともに、関係機関と協議して適切な工程管理を行う。